

Japanese Patent Publication No. 58-133978

(Published on August 9, 1983)

Japanese Patent Application No. 57-15910

(Filed on February 3, 1982)

Title: STRUCTURE FOR MOUNTING METER COVER IN TWO WHEEL
MOTORCYCLE

Applicant: HONDA MOTOR CO., LTD.

<Page 5, lines 3 to 13>

A headlight cover 13 is made of a hard synthetic resin which is opaque and appropriately colored. A meter cover 14 made of a semi-transparent resin which is colored light blue or the like, is disposed on the upper surface of the headlight cover 13, which is inclined toward above and behind. Through the meter cover 14, light properly shines on a meter unit 12 disposed immediately below the meter cover 14. Additionally, a meter visor 15 made of a semi-transparent resin which is colored brown or the like is interposed between the meter unit 12 and the meter cover 14. The meter visor 15 prevents light passing through the meter cover 14 from impinging directly on the display surface of the meter unit 12 and reflecting toward above and behind to the driver.

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—133978

⑩ Int. Cl.³
B 62 J 39/00
23/00

識別記号

庁内整理番号
7053—3D
7053—3D

⑬ 公開 昭和58年(1983)8月9日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 6 頁)

⑭ 自動二輪車におけるメーターカバーの取付構造

新座市野火止 8—8—20—108

⑯ 発明者 青木 征憲

東京都練馬区大泉学園町357

⑯ 発明者 岡崎 浩

和光市新倉1—3—28

⑰ 出願人 本田技研工業株式会社

東京都渋谷区神宮前 6 丁目 27 番
8 号

⑱ 代理人 弁理士 下田 容一郎 外 1 名

⑲ 特 願 昭57—15910

⑳ 出 願 昭57(1982)2月3日

㉑ 発明者 石川 敏

埼玉県入間郡鶴ヶ島町富士見 3
—20—101

㉒ 発明者 松井 守

明 細 書

1. 発明の名称

自動二輪車におけるメーターカバーの取付構造

2. 特許請求の範囲

自動二輪車のヘッドライト部分に装備するヘッドライトカバーに設けられるメーターカバーの略平行する対辺部をヘッドライトカバーの窓部に凹凸係合するとともに、該メーターカバーの上記と異なる他方の略平行する対辺部に突起を垂下形成し、該突起をヘッドライトカバーの窓部に形成した小孔に挿嵌したことを特徴とする自動二輪車におけるメーターカバーの取付構造。

3. 発明の詳細な説明

本発明は自動二輪車のヘッドライト部分に装備するヘッドライトカバーに設けられるメーターカバーの取付構造に関する。

自動二輪車のヘッドライトカバーの上面には半透明樹脂製のメーターカバーが設けられ、こ

の直下に配設されたスピードメーター、タコメーター等のメーター類に適宜採光するようになつている。しかしながら、斯るメーターカバーをヘッドライトカバーに取り付ける場合、従来ではビス等の別個の結着具を用いてヘッドライトカバーの窓部にメーターカバーの周縁部を結着していたため、取付作業が煩雑であるとともに、結着具の頭部等が外観に現れることとなり外観上両カバーの一体感に乏しかつた。

又接着剤によりメーターカバーの周縁部をヘッドライトカバーの窓部に接着することも行われるが、接着剤を均一に接合部分に塗布しなければならない等仲々面倒であつた。

更に上記の如く何れの場合ともメーターカバーの周縁部をヘッドライトカバーの窓部に固着していたため、ヘッドライトカバーの上下若しくは左右方向に作用する外力により固着部分に応力が集中し、換言すれば応力の分散が図れず、為に上記外力に起因するヘッドライトカバーの弾性変形に伴つてメーターカバーの弾性変形を追従させるこ

とができなかつた。

本発明は以上の不都合を解消すべく成されたもので、その目的とする処は、メーターカバーの略平行する対辺部に凹状係合部を形成する等してヘッドライトカバーの窓部と凹凸係合せしめるとともに、該メーターカバーの上記と異なる他方の略平行する対辺部に一体に垂下形成した突起と、ヘッドライトカバーの窓部に穿設した小孔とを嵌着させて当該メーターカバーをヘッドライトカバーに取り付け、メーターカバーの上面に結着具の頭部等が現れることなく、しかも別個にビス等の結着具を必要とせず、簡単に両者を組み付けることができ、更に組付状態にあつても円滑に応力分散がなされる等、以つて外観上の両カバーの一体感とは勿論、組付作業性の向上及び弾性変形の追従の円滑化をも有効に達成することができる自動二輪車におけるメーターカバーの取付構造を提供するにある。

以下に本考案の好適一実施例を添付図面に基つて詳述する。

-3-

抵抗を軽減すべく流線型のヘッドライトカバー13が不図示のブラケット等を介して取り付けられる。ヘッドライトカバー13は不透明で適宜の着色を施された硬質合成樹脂製であり、後上方に傾斜起立する上面には炭青色等の半透明樹脂製のメーターカバー14が設けられ、これ14はその直下に配設されたメーターユニット12に適宜採光するためのものである。尚メーターユニット12とメーターカバー14との間には茶色等の不透明樹脂製のメーターバイザー15が介設され、これ15によりメーターカバー14から採り入れた光がユニット12のメーター表示面に直接前方から入光して後上方の乗員側に反射するのが防止される。

ヘッドライトカバー13は第2図及び第3図の通り前方に開口する開口部30を有し、これ30に臨ませたヘッドライト10の周囲を覆う流線形状をなしており、開口部30の上辺から後上方に傾斜して起立する上面31は左右両側面32、32から隆起33、33する如く形成されている。斯るヘッドライトカバー13の上面31の後半部に

第1図は自動二輪車の側面図、第2図はヘッドライトカバーの正面図、第3図は同縦断側面図、第4図乃至第7図はヘッドライトカバーとメーターとの係合及び嵌着状態を示す各図、第8図はヘッドライト部分の要部を縦断して示した側面図である。

図示の如く自動二輪車1の車体フレーム2の前端のヘッドパイプ3にはステアリングシステム(不図示)が縦挿され、該システムの上下に設けられたトップブリッジ4、ボトムブリッジ5に支持された左右2本のフロントフォーク6の下部には前輪7が支持され、上部にはステアリング8が設けられている。そして上記両ブリッジ4、5間に支持されたブラケット9を介してその前部にはヘッドライト10が取り付けられ、更にブラケット9の上部にはステイ11等を介して乗員側たる後上方に向けてスピードメーター、タコメーター等のメーターユニット12が配設されている。

即ち第8図に示されるように斯るヘッドライト10部分には自動二輪車1の走行時における空気

-4-

は上記左右の両隆起部33、33に亘つて窓部34が設けられており、該窓部34には本発明に係る取付構造でもつてメーターカバー14が装着されている。

窓部34の周縁35を全周に亘つて下方に若干凹ませるとともに、内方に向けて適宜延出して取付座部36を囲繞形成する。尚上記凹み量はメーターカバー14の肉厚と略々等しい。

メーターカバー14は窓部34の正断面形状に等しい拡開した略横コ字状をなし、図示の如く略平行する左右の対辺、即ち左右の側縁41、41の中央部には夫々係止片42、42が外側方に向けて1個ずつ垂下形成されている。尚上記側縁41の下面と係止片42の上面との間隔は前記窓部34の周縁35の肉厚に略々等しい。

又斯るメーターカバー14の上記と異なる他の略平行する対辺、即ち前後の辺縁43、43には夫々適宜左右方向に離して突起44…が2個ずつ垂下形成されている。突起44は丸棒状をなし、前記窓部34の周縁35の肉厚より充分に長く、

周縁35の上辺及び下辺に夫々対応して穿設した小孔37…に上方から挿入してその先部を下方に突出する。

以上の係止片42…、突起44…はメーターカバー14の所定部位の下面に全一体成形により設けられる。

更に第6図及び第7図に示すように可撓性を有する樹脂等の丸板材からなるブッシュナット50…を用意しておく。ブッシュナット50はその中央部に小孔51を有し、小孔51周から放射状にスリット52…を形成してなる。斯るブッシュナット50の小孔51は前記丸棒状の突起44の外径より小さく形成され、ナット50自体の有する可撓性と上記スリット52…の作用により突起44を小孔51に挿入した状態を保持してその抜脱を阻止するように嵌着する。

次に以上の如く構成されたメーターカバー14のヘッドライトカバー13への装着手順を説明する。

まずヘッドライトカバー13の上面31後半部

-7-

以上の如く本発明に係る取付構造によれば、ビス等の結着具を一切用いずに係止片42や突起44をメーターカバー14の下面に一体に形成してヘッドライトカバー13の窓部34に夫々係合若しくは挿嵌して組み付けたため、軽量化も図れ、メーターカバーの上面に結着具の頭部等が現れることなく、且つ装着も容易であり、以つて外観上の両カバーの一体感は勿論、組付作業性の向上も大幅に達成されることとなる。

又メーターカバー14の左右両側縁41, 41をヘッドライトカバー13に固着せずに凹凸係合せしめたため、ヘッドライトカバー13に作用する横方向からの外力によつても係合部分でこれを受け、円滑に応力を分散せしめることができ、以つて上記外力に起因して弾性変形するヘッドライトに追従して同様にメーターカバーも弾性変形することとなる。

更に実施例の如く窓部34の周縁35を下方に若干凹ませた取付座部36にメーターカバー14を凹設する如く装着したため、上記と併せ横方向

に形成した窓部34の正断面形状に等しい拡開した略横コ字状をなすメーターカバー14を両側方から挟む如く力を加えて窓部34に上方から接近させ、メーターカバー14の左右両側縁41, 41を窓部34の周縁35の段状に凹んだ取付座部36に当接させつつ上記側縁41と、これ41から外側方に垂下した係止片42との間に上記窓部34の周縁35を差し込むようにして凹凸係合する。

次にメーターカバー14の上下両側縁43, 43に夫々2個垂下形成した突起44…を窓部34の周縁35の上辺及び下辺に夫々穿設した小孔37…に上方から挿入する。以上によりメーターカバー14をヘッドライトカバー13に容易に位置決めしつつ仮組み付けすることができる。

更に窓部34の周縁35から小孔37を介して下方に突出した突起44の先部にその下方からブッシュナット50を嵌着する。これにより前述の如く嵌着状態は保持され、以つてヘッドライトカバー13にメーターカバー14が確実に装着されることとなる。

-8-

及び上下方向の外力に対してもメーターカバー14の周縁は取付座部36に連続する壁部によつて横方向及び上下方向に応力の分散がなされ、同様に弾性変形に追従する。

尚実施例ではメーターカバー14をヘッドライトカバー13に凹設して表面を略々面一としたため、上記した外観上の一体感に加え、表面に付着した汚れ等が拭き取りやすい。

ところで以上実施例では細部の取付部位及び構成に及んだが、本発明はこれのみに限定されるものではない。

以上で明らかなように本発明によれば、メーターカバーの略平行する対辺部をヘッドライトカバーの窓部に凹凸係合し、且つ上記と異なる他方の略平行する対辺部に垂下形成した突起及び上記窓部に穿設した小孔を嵌着等して両カバーを組み付けたため、メーターカバーの上面に結着具の頭部等が現れず、しかも簡単に組み付けることができ、又組付状態にあつても円滑に応力の分散が図れる等、以つて外観上の両カバーの一体感及び組付作

乗の向上は勿論、弾性変形の追従の円滑化も有効に達成し得る等多大なる利点を発揮することができる。

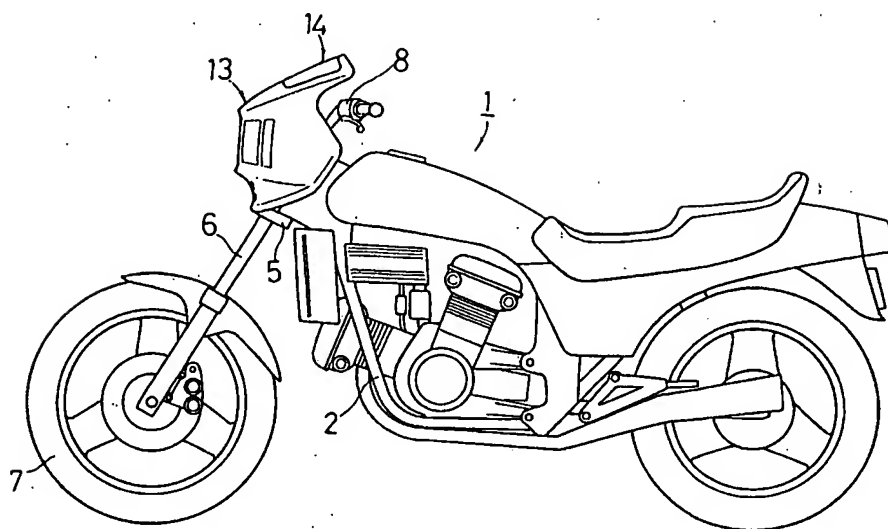
4. 図面の簡単な説明

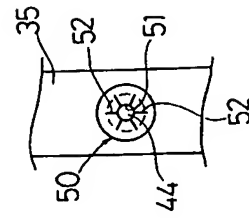
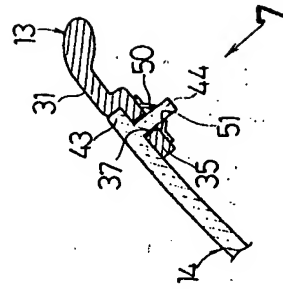
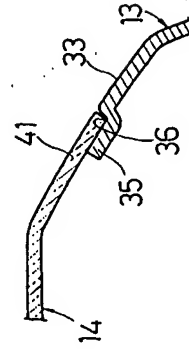
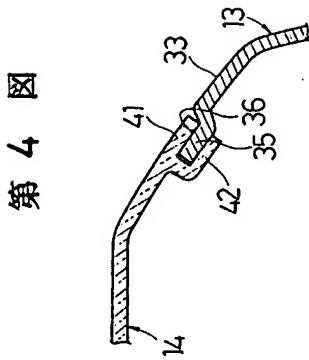
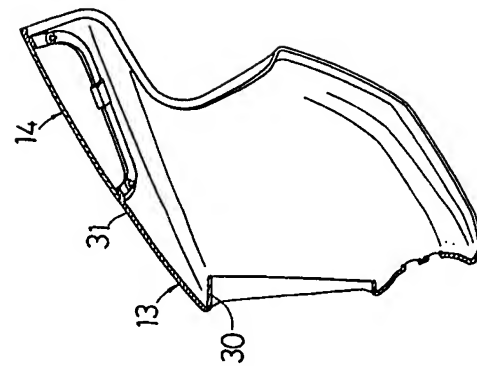
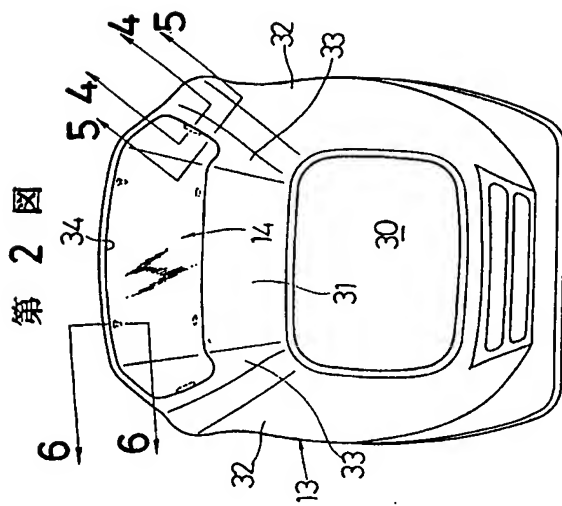
図面は本発明の実施例を示すもので、第1図は自動二輪車の側面図、第2図はヘッドライトカバーの正面図、第3図は同縦断側面図、第4図乃至第7図はヘッドライトカバーとメーターカバーとの係合及び嵌着状態を示す各図で、第4図は第2図中4-4線断面図、第5図は同5-5線断面図、第6図は同6-6線断面図、第7図は第6図中矢視7方向から見た底面図、第8図はヘッドライト部分の要部を縦断して示した側面図である。

尚図面中1は自動二輪車、10はヘッドライト、12はメーター、13はヘッドライトカバー、14はメーターカバー、34は窓部、35、36、41、42は凹凸係合部分、37は小孔、44は突起である。

-11-

第 1 図





第 8 図

